



平成 24 年 10 月 26 日

各 位

会社名 株式会社 小林 洋 行  
代表者名 代表取締役社長 細 金 成 光  
(コード番号 8742 東証第一部)  
問合せ先 取締役経営企画室長 宮 崎 誠 二  
(TEL 03-3664-3511)

## 子会社の店頭外国為替証拠金取引事業の顧客移管及び 事業の廃止並びに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 10 月 26 日開催の取締役会及び連結子会社でありますフェニックス証券株式会社（以下「フェニックス証券」といいます）の臨時株主総会におきまして、① 同社が行っている店頭外国為替証拠金取引事業（以下「店頭 F X 事業」といいます）を廃止するにあたり店頭 F X 事業の顧客を移管すること、② 店頭 F X 事業の顧客移管手続きが完了後に金融商品取引業を廃止することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件に伴い特別損失の発生が見込まれますので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 顧客移管の理由

当社グループでは、コア事業である商品先物取引業の経営環境が厳しい状況が続いていることから、これまで支店の統廃合や希望退職者の募集などを行い営業費用の圧縮に努めるとともに、商品先物取引業をグループ会社へ集約するなど諸施策を講じてまいりました。また、更なるグループ事業の選択・再構築を行うため、不採算事業や将来性が見込めない事業からの撤退を押し進めております。こうした方針のもと、平成 23 年 3 月期に赤字転落して以降、不振に陥っているフェニックス証券の経営状況及び F X 業者間における競争激化による影響などを総合的に勘案した結果、同社の店頭 F X 事業を廃止するにあたり、投資家保護の観点から取引の継続を希望するお客様の顧客移管することとしたものであります。

#### 2. 顧客移管の概要

##### (1) 当該事業の内容

フェニックス証券における店頭 F X 事業

同事業の営業収益 26 百万円（平成 24 年 3 月期）

（当社グループの連結営業収益に対する割合 0.8%）

##### (2) 顧客移管に係る資産及び負債等

顧客移管日（平成 24 年 12 月（予定））におけるフェニックス証券の移管対象顧客の証拠金及び未決済建玉

(3) 当該子会社の概要

(1) 名称	フェニックス証券株式会社		
(2) 所在地	大阪府中央区北浜一丁目5番5号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 丹羽 広		
(4) 事業内容	金融商品取引業者		
(5) 資本金	1,000百万円		
(6) 設立年月日	平成10年11月16日		
(7) 大株主及び持株比率	当社 : 66.06% 株式会社共和トラスト : 33.94% (当社100%子会社)		
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	当社は当該会社の発行済株式総数の100.0%に相当する21,800株(間接保有分7,400株を含む。)を保有しております。	
	人的関係	当社取締役1名が当該会社の取締役を兼任しております。	
	取引関係	特筆すべき事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の連結子会社であり、当社の関連当事者に該当します。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
純資産	1,678百万円	1,636百万円	1,340百万円
総資産	4,392百万円	3,561百万円	3,013百万円
1株当たり純資産(円)	76,992円13銭	75,086円50銭	61,489円97銭
営業収益	491百万円	428百万円	169百万円
営業利益	20百万円	△28百万円	△215百万円
経常利益	19百万円	△29百万円	△152百万円
当期純利益	8百万円	△41百万円	△296百万円
1株当たり当期純利益(円)	402円74銭	△1,904円64銭	△13,596円78銭
1株当たり配当金(円)	—	—	—

(4) 顧客移管先の概要

(1) 名称	ヒロセ通商株式会社		
(2) 所在地	大阪府西区新町1丁目3番19号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 細合 俊一		
(4) 事業内容	第一種金融商品取引業者		
(5) 資本金	420百万円(平成24年3月期)		
(6) 設立年月	平成16年3月		
(7) 純資産	2,132百万円(平成24年3月期)		
(8) 総資産	17,693百万円(平成24年3月期)		
(9) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。	
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。	
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。	

	<p>関連当事者への該当状況</p>	<p>当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。</p>
--	--------------------	--

### 3. 廃止事業の概要

#### (1) 廃止事業の内容

フェニックス証券における金融商品取引業（店頭F X事業、証券業）

#### (2) 事業廃止の理由

フェニックス証券では金融商品取引業を行っておりますが、証券業界を取り巻く経営環境は、市場の低迷が長引いている現状を考慮いたしますと困難な状況が続くものとみられ、今後、同社が安定的に収益を確保し続けることは厳しいものと予想されることから、店頭F X事業の顧客移管手続きが完了後に、金融商品取引業を廃止することを決定いたしました。

### 4. 日程

(1) 取締役会決議（当社）	平成 24 年 10 月 26 日
(2) 臨時株主総会（フェニックス証券）	平成 24 年 10 月 26 日
(3) 顧客の移管に関する合意書締結	平成 24 年 10 月 26 日
(4) 顧客移管期日	平成 24 年 12 月（予定）
(5) 金融商品取引業の廃止	店頭F X事業の顧客移管手続き完了後（予定）

### 5. 特別損失の内容

店頭F X事業の顧客移管（平成 24 年 12 月予定）により、フェニックス証券の店頭F X事業に係るシステム等が不要となることから、平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結決算においてソフトウェア 28 百万円をはじめとする 33 百万円を減損処理し、また、システム途中解約に伴う違約金 17 百万円を含めた合計 51 百万円を特別損失として計上するものであります。

### 6. 今後の見通し

平成 24 年 3 月期における当社グループの連結営業収益（3,312 百万円）に対して、フェニックス証券の営業収益 169 百万円（うち、金融商品取引業による営業収益は 159 百万円）であることから、僅少ではありますが本件は減収要因となります。しかしながら、同社の事業にかかっている営業費用などを相対的に勘案しますと、来期以降、赤字幅の縮小効果が期待されます。

なお、店頭F X事業の顧客移管が平成 24 年 12 月（予定）であり、顧客移管手続き完了日以降に金融商品取引業を廃止する予定であるため、今後、様々な一時費用が発生することが予想されますが、新たに開示の必要性が生じた場合には、適宜、公表してまいります。

以上